

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	共用性のあるソファ、椅子(1人掛け)のカバーについては、防活用を変更する。	業務都合によるものでなく、利用者見地から一般的で馴染めるカバーに変える。	廊下ソファ、椅子は共用性が高く防活用ガードをしていたが、一般的見地から不適切な為、取り外し利用者が馴染めるカバー等に変更する。	1ヶ月
2	39	朝夕はクックチルド製法、昼は職員調理による、提供ではあるが栄養、カロリーのモニタリング、献立の計画性等から専門性を含め食事サービスの基本を見直す。	朝は本館(特養)からパン食又は米飯食を厨房より運び、昼夕食については調理専門職員の配置により、食事サービスに係わる内容を改善し提供する。	8月度より食事づくり主体の職員を配置し、栄養、カロリー等のモニタリング、計画献立の確立、職員も利用者共にテーブルニ付き食事も食事中の大切さも同様に共感していくことに取り組んで行く。	3～6ヶ月
3	14	同法人のグループホームが兵庫県下にもあり、相互に交流を図っているが、枚方市内にある他のグループホームとの交流が図れていない。	同市内の他のグループホームとの交流機会を持ち、情報交換や現状課題の意見交換等、積極的なネットワーク作りに努める。	地域包括支援センターを介して、同市内のグループホームの交流会等に定期的に参加し、他施設の取り組みを拝聴することから始めて行く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。